

看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する取組事項

当院では、看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資することを目的とする計画を策定し、これに基づき以下の取り組みを実施しています。患者さん、ご家族の皆さんにも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます

1. 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する体制

(1) 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する責任者

院長 八戸 大輔

(2) 看護職員の勤務状況の把握等

勤務時間 平均 40.0 時間

2交代の夜勤に係る配慮

- ・仮眠2時間含む休憩時間の確保
- ・勤務後の歴日の休日の確保
- ・月の夜勤回数を6回以内に制限

(3) 多職種からなる役割分担推進の為の会議

運営会議 開催頻度 毎月2回程度 参加人数 約10人

参加職種…医師、看護師、診療看護師、薬剤師、検査技師、臨床工学士、放射線技師
救急救命士、病棟クラーク、事務員

(4) 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する計画

- ・計画の策定
- ・職員に対する計画の周知

(5) 看護職員の負担の軽減及び処遇改善に関する取組事項の公開

- ・院内掲示
- ・ホームページでの公開

2. 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取り組み内容

(1) 業務量の調整

- ・業務内容の見直し(業務改善)
- ・業務量調査の検証とフィードバック(超過勤務・有休取得)
- ・リリーフ体制による当日の人員配置遵守維持
- ・勤務前残業調整及び是正(労働基準法遵守)

(2) 短時間正規雇用の看護職員の活用

- ・看護単位に合せた育短適応職員の配置

(3) 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮

- ・学童保育の柔軟な対応
- ・産休育休明けでの受け入れ体制の推進強化
- ・介護休暇の取得
- ・院内保育、夜間保育、配置転換
- ・夜勤の減免制度

3. 看護補助者の配置

- ・看護補助者研修
- ・各看護補助者体制加算類上げに対する勤務調整

4. 看護職員と多職種との業務分担

- ◇看護師 静脈採血の実施、入院説明の実施、検査手順説明の実施
- ◇薬剤師 病棟に薬剤師を配置し医師から直接指示を受ける、服薬指導
- ◇理学療法士 心大血管疾患リハビリに対し CPX による運動耐容能力検査と運動処方・指導
- ◇臨床検査技師 検査レポートの作成、人員確保
- ◇放射線技師 レポート内容の検討、各種検査における画像所見の記載
- ◇臨床工学士 医療機器の点検、中央管理室の設置と担当者の選定
- ◇救命救急士 救急隊からのホットライン対応、病院救急車による救急搬送、急変時対応、夜間・休日の患者からの電話初期対応
- ◇診療看護師 特定行為の実施、手術補助、急変時対応
- ◇医師事務作業補助 診療内容・検査オーダー・処方の代行入力
- ◇診療情報管理士 DPC データ作成・サマリ・様式1の作成
- ◇医療事務員 病名代行入力

5. 多様な勤務形態の導入

- ・夜勤が困難な者は、外来に配置する、早出・遅出等の調整を行っている

6. 夜勤負担の軽減

夜勤の翌日の休暇確保、連続夜勤は2回まで、夜勤専従者の休日の調整、休憩室の確保、仮眠室の確保、交代制休憩時間の指導、夜勤業務の見直し、日勤業務との調整

- (1) 長時間夜勤の是正
2交代制のため、16時間勤務となっている
- (2) シフト間隔の確保
夜勤と夜勤の間は、31時間を確保している
また、原則、夜勤の翌日は休日とする
- (3) 夜勤従事者数の増員
現在は、平日・週末共に 15 名体制であるが、夜勤者が充足次第増員予定
- (4) 月の夜勤回数の上限定額
月6回を上限とする
- (5) その他

多職種、業務改善委員会等を活用し、業務分担について各部門からの協力を求める。
現場での業務が速やかに理解できるよう、新入職員の入職時研修をより充実させる。
助手の研修を年2回以上定期的に計画し、補助者業務マニュアルを活用し各病棟での補助者業務がスムーズに実施できる体制をとる。

2025 年 8 月 1 日
医療法人札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック
院長 八戸 大輔

